

調査結果の概要

I 人口の動向

1 総人口

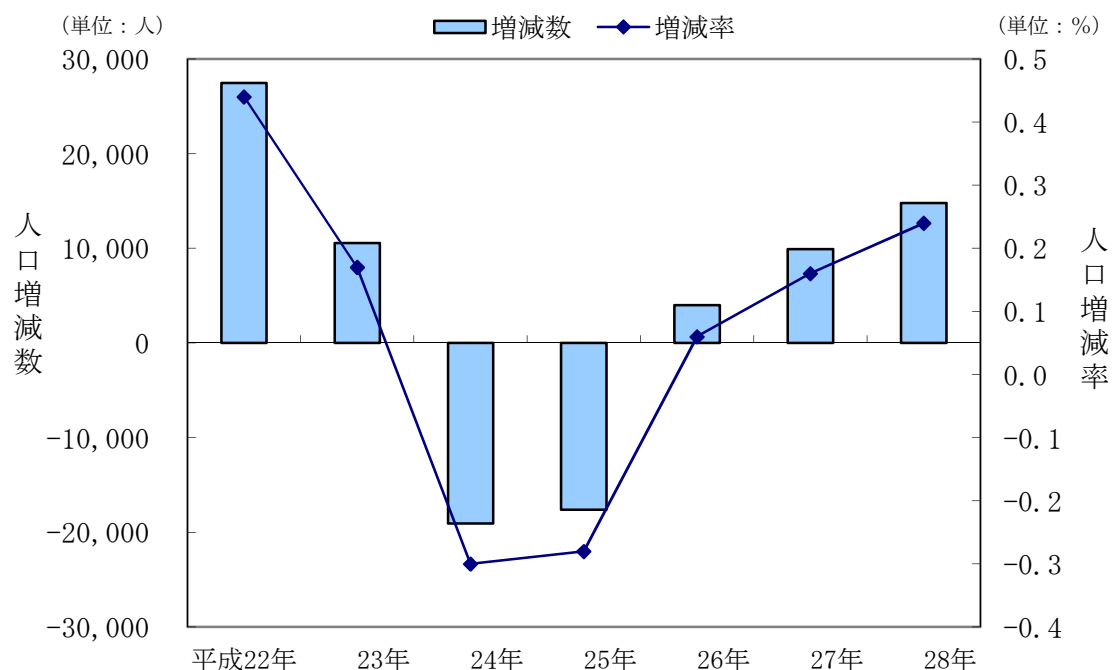
(1) 千葉県

平成28年4月1日現在の千葉県の総人口は、626万9,146人で、平成27年4月から平成28年3月までの1年間に14,787人(0.24%)増加しました。平成26年度から3年連続で増加となっています。(本編第4表、表1、図1)

表1 総人口の推移

年次	総人口(人)	増減数(人)	増減率(%)
平成22年	6,266,608	27,463	0.44
23年	6,277,160	10,552	0.17
24年	6,258,078	-19,082	-0.30
25年	6,240,461	-17,617	-0.28
26年	6,244,455	3,994	0.06
27年	6,254,359	9,904	0.16
28年	6,269,146	14,787	0.24

図1 総人口の人口増減数及び増減率の推移



(2) 市町村

人口が最も多いのは、千葉市の96万4,830人となっています。次いで、船橋市の62万7,816人、以下、松戸市49万7,773人、市川市47万8,542人、柏市41万0,033人の順となっており、この5市で千葉県総人口の47.4%を占めています。(本編第1表、表2)

また、人口が最も少ないのは、神崎町の6,291人となっています。次いで、睦沢町の7,315人、以下、長柄町7,348人、芝山町7,582人、御宿町7,769人の順となっています。(本編第1表、表3)

表2 多い順

順位	市町村名	人口(人)	総人口に占める割合(%)
1	千葉市	964,830	15.39
2	船橋市	627,816	10.01
3	松戸市	490,773	7.83
4	市川市	478,542	7.63
5	柏市	410,033	6.54

表3 少ない順

順位	市町村名	人口(人)	総人口に占める割合(%)
1	神崎町	6,291	0.10
2	睦沢町	7,315	0.12
3	長柄町	7,348	0.12
4	芝山町	7,582	0.12
5	御宿町	7,769	0.12

2 男女別人口

男女別人口は、平成28年4月1日現在で男性313万890人、女性313万8,256人となっています。平成27年4月から平成28年3月までの1年間に、男性は6,883人(0.22%)の増加、女性は7,904人(0.25%)の増加となりました。

また、男女別人口の推移をみると、平成24年から女性の人口が男性の人口を上回っていますが、その差は少し広がりました。(本編第4表、表4、図2)

表4 男女別人口の推移

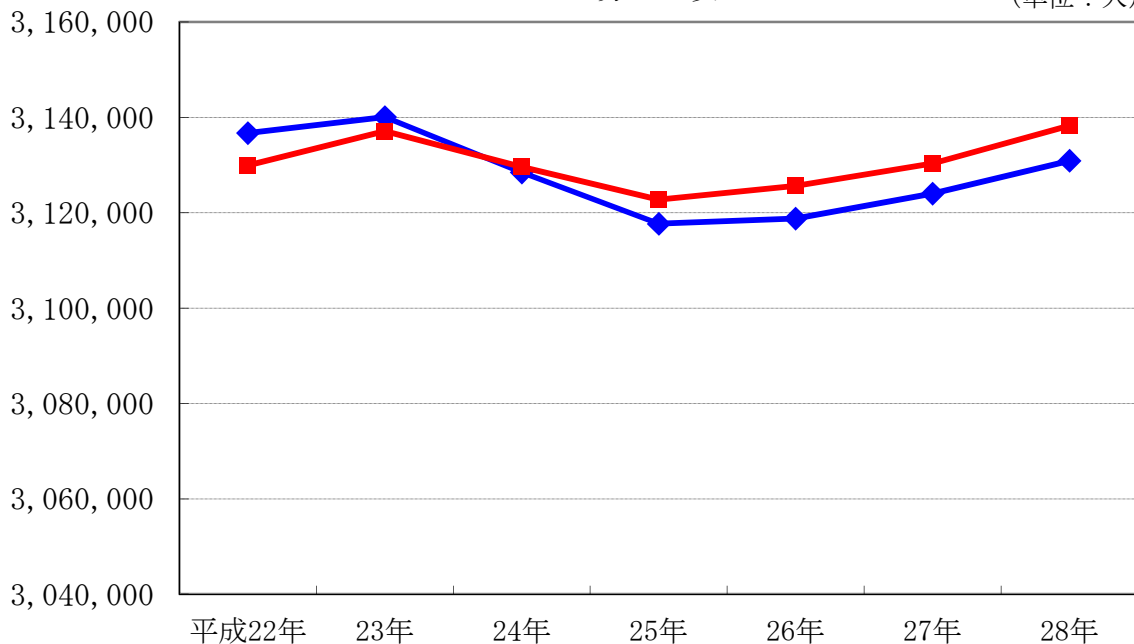
(単位：人)

年次	総数	男	増減数	増減率 (%)	女	増減数	増減率 (%)
平成22年	6,266,608	3,136,705	12,592	0.40	3,129,903	14,871	0.48
23年	6,277,160	3,140,060	3,355	0.11	3,137,100	7,197	0.23
24年	6,258,078	3,128,454	-11,606	-0.37	3,129,624	-7,476	-0.24
25年	6,240,461	3,117,685	-10,769	-0.35	3,122,776	-6,848	-0.22
26年	6,244,455	3,118,792	1,107	0.04	3,125,663	2,887	0.09
27年	6,254,359	3,124,007	5,215	0.17	3,130,352	4,689	0.15
28年	6,269,146	3,130,890	6,883	0.22	3,138,256	7,904	0.25

図2 男女別人口の推移

◆男 ■女

(単位：人)



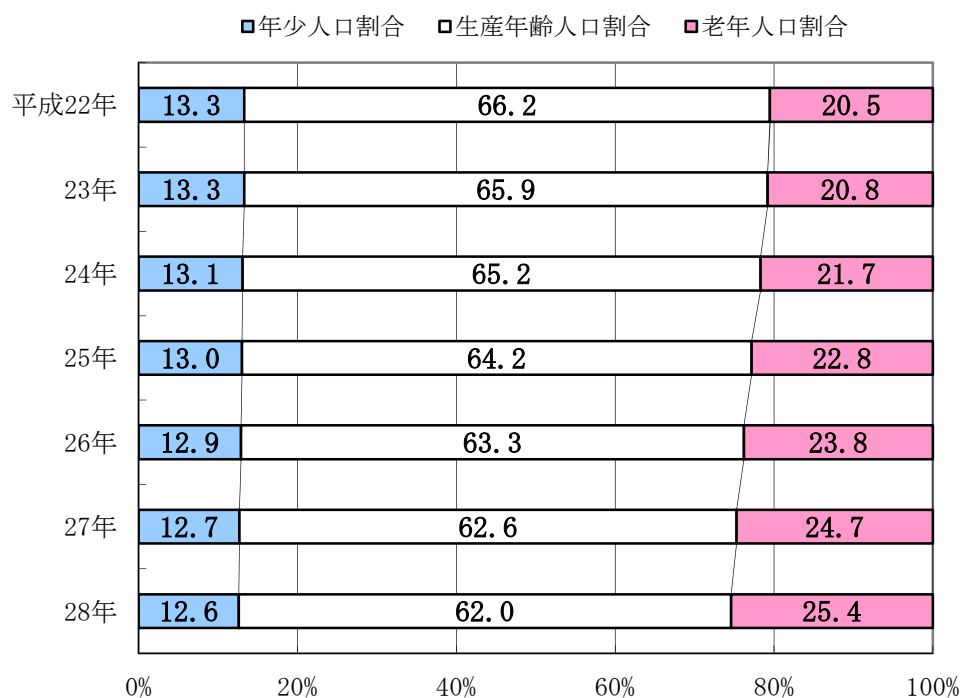
II 年齢3区分別人口

1 千葉県

平成28年4月1日現在の千葉県の年齢3区分別人口は、0～14歳の年少人口が78万9,266人、15～64歳の生産年齢人口が388万5,576人、65歳以上の老年人口が159万4,304人となっており、それぞれ総人口に占める割合は、12.6%、62.0%、25.4%となっています。

これを平成27年4月1日現在と比べると、年少人口割合は0.1ポイント、生産年齢人口割合は0.6ポイントそれぞれ減少し、老年人口割合は0.7ポイント増加となっています。(本編第4表、図3)

図3 年齢3区分別人口割合の推移



2 市区町村

年少人口割合が最も高いのは、千葉市緑区、白井市の15.4%、以下、印西市15.2%、流山市14.6%、浦安市14.3%の順となっています。また、最も低いのは御宿町の7.0%で、次いで、鋸南町の7.1%、以下、勝浦市7.6%、長南町7.8%、長柄町8.7%の順となっています。

生産年齢人口割合が最も高いのは、浦安市の69.6%で、次いで、市川市の67.2%、以下、千葉市中央区、成田市の65.0%、印西市64.3%の順となっています。また、最も低いのは御宿町の45.6%で、次いで、南房総市の48.6%、以下、鋸南町48.9%、館山市52.5%、大多喜町52.8%の順となっています。

老年人口割合が最も高いのは、御宿町の47.4%で、次いで、鋸南町の44.0%、以下、南房総市42.4%、勝浦市39.3%、大多喜町38.3%の順となっています。また、最も低いのは浦安市の16.1%で、次いで、千葉市緑区、市川市の20.4%、以下、印西市20.6%、成田市20.9%の順となっています。(本編第1表、表5、表6、図4)

表5 高い順

(単位：%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	千葉市緑区	15.4	1	浦安市	69.6	1	御宿町	47.4
2	白井市	15.4	2	市川市	67.2	2	鋸南町	44.0
3	印西市	15.2	3	千葉市中央区	65.0	3	南房総市	42.4
4	流山市	14.6	4	成田市	65.0	4	勝浦市	39.3
5	浦安市	14.3	5	印西市	64.3	5	大多喜町	38.3

表6 低い順

(単位：%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	御宿町	7.0	1	御宿町	45.6	1	浦安市	16.1
2	鋸南町	7.1	2	南房総市	48.6	2	千葉市緑区	20.4
3	勝浦市	7.6	3	鋸南町	48.9	3	市川市	20.4
4	長南町	7.8	4	館山市	52.5	4	印西市	20.6
5	長柄町	8.7	5	大多喜町	52.8	5	成田市	20.9

※割合は、小数点第2位を四捨五入しています。

※割合が同率の場合、小数点第2位以下の値により順位を付けています。

図4 年齢3区分別人口割合（県・市区町村別）

■年少人口割合 □生産年齢人口割合 ■老年人口割合 （単位：%）

県市区町村	年少人口割合 (%)	生産年齢人口割合 (%)	老年人口割合 (%)
県	12.6	62.0	25.4
千葉市	12.9	62.5	24.6
中央区	12.4	65.0	22.6
花見川区	11.9	61.9	26.2
稲毛区	13.1	62.3	24.6
若葉区	11.8	59.0	29.2
緑区	15.4	64.2	20.4
美浜区	13.7	62.1	24.3
銚子市	8.9	57.3	33.8
市川市	12.4	67.2	20.4
船橋市	13.4	63.4	23.1
館山市	10.7	52.5	36.7
木更津市	13.4	60.3	26.3
松戸市	12.2	63.3	24.5
野田市	12.5	59.5	27.9
茂原市	11.1	58.9	30.0
成田市	14.1	65.0	20.9
佐倉市	11.9	59.5	28.6
東金市	11.5	62.3	26.2
旭市	12.2	59.9	27.9
習志野市	13.5	64.0	22.5
柏市	13.2	62.2	24.6
勝浦市	7.6	53.1	39.3
市原市	12.1	61.6	26.3
流山市	14.6	61.5	23.9
八千代市	14.1	61.9	24.1
我孫子市	12.3	59.3	28.4
鴨川市	10.3	53.6	36.2
鎌ヶ谷市	12.7	60.8	26.5
君津市	11.4	60.4	28.2
富津市	9.4	56.1	34.5
浦安市	14.3	69.6	16.1
四街道市	13.5	58.8	27.7
袖ヶ浦市	13.6	61.6	24.8
八街市	10.9	63.2	25.9
印西市	15.2	64.3	20.6
白井市	15.4	61.1	23.5
富里市	11.9	63.7	24.4
南房総市	9.0	48.6	42.4
匝瑳市	11.0	57.5	31.5
香取市	10.2	57.2	32.6
山武市	9.8	59.4	30.8
いすみ市	9.4	53.1	37.5
大網白里市	11.3	60.3	28.4
酒々井町	11.8	58.9	29.2
栄町	8.9	60.1	31.0
神崎町	9.8	59.1	31.1
多古町	9.3	57.2	33.5
東庄町	10.1	55.8	34.1
九十九里町	9.0	56.4	34.6
芝山町	10.3	59.0	30.7
横芝光町	10.8	56.0	33.2
一宮町	12.7	56.1	31.1
睦沢町	9.6	53.9	36.5
長生村	11.0	57.8	31.2
白子町	9.1	54.5	36.4
長柄町	8.7	56.5	34.7
長南町	7.8	54.8	37.3
大多喜町	9.0	52.8	38.3
御宿町	7.0	45.6	47.4
鋸南町	7.1	48.9	44.0

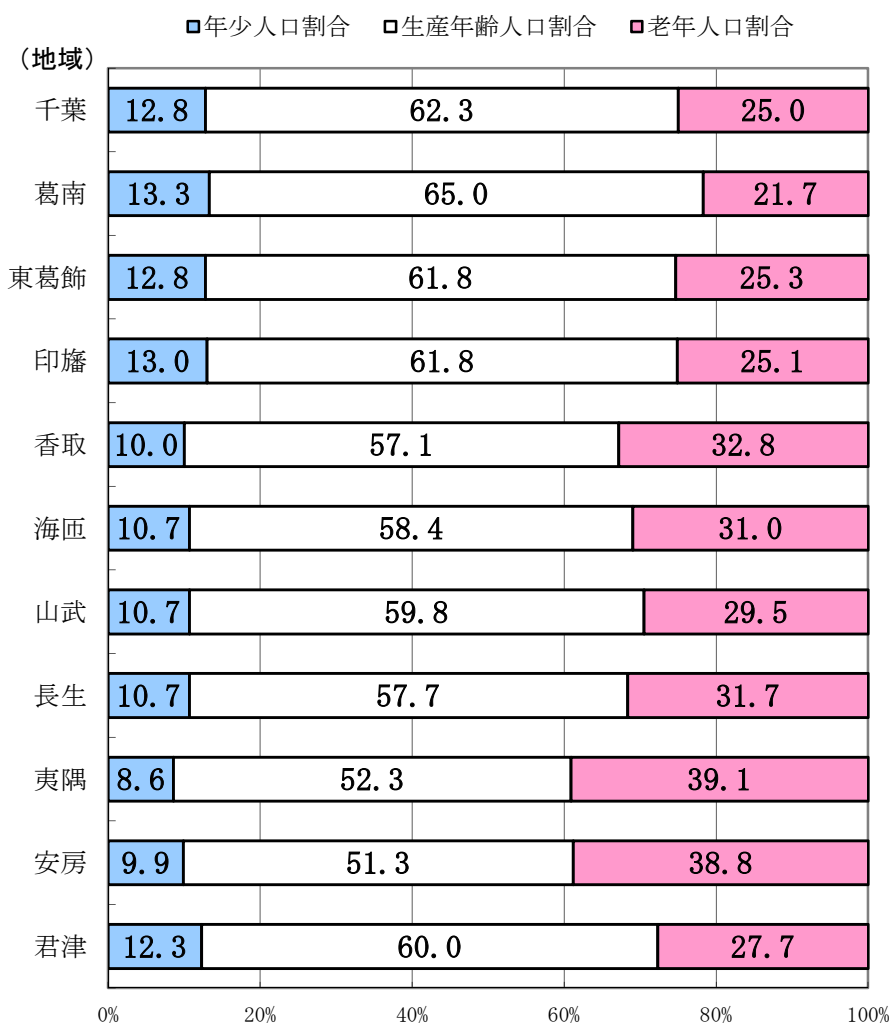
3 1 1 地域

年少人口割合が最も高いのは、葛南地域の13.3%で、次いで、印旛地域の13.0%、東葛飾地域と千葉地域の12.8%となっています。なお、年少人口割合が最も低いのは夷隅地域の8.6%です。

生産年齢人口割合が最も高いのは、葛南地域の65.0%で、次いで、千葉地域の62.3%、東葛飾地域と印旛地域の61.8%となっています。なお、生産年齢人口割合が最も低いのは安房地域の51.3%となっています。

老年人口割合が最も高いのは、夷隅地域の39.1%、安房地域の38.8%で、次いで、香取地域の32.8%となっています。なお、老年人口割合が最も低いのは葛南地域の21.7%となっています。(本編第1表、図5)

図5 年齢3区分別人口割合 (11地域別)



※割合は、小数点第2位を四捨五入しています。

※割合が同率の場合、小数点第2位以下の値により順位を付けています。

Ⅲ 年齢（5歳階級、各歳）別、男女別人口

1 年齢5歳階級別人口

年齢5歳階級別にみると、40～44歳が51万7,202人で最も多く、総数に占める割合は8.25%となっています。

以下、65～69歳が50万166人で7.98%、45～49歳が47万4,006人で7.56%、35～39歳が42万5,103人で6.78%、50～54歳が39万6,841人で6.33%の順となっています。（本編第2表、表7）

表7 年齢5歳階級別人口

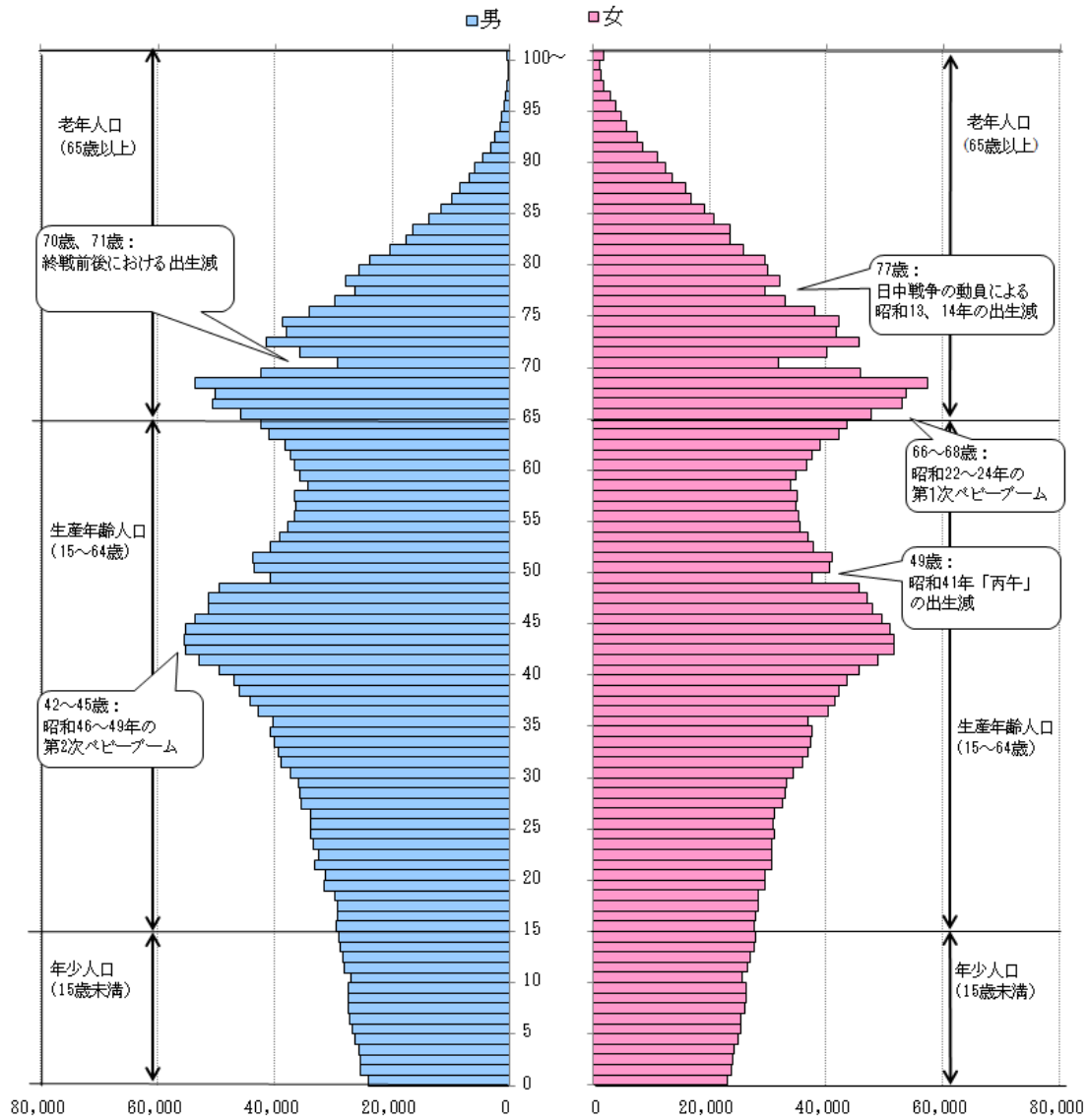
年齢	人口（人）	総数に占める割合（%）
総数	6,269,146	100.00
0～4	246,843	3.94
5～9	266,296	4.25
10～14	276,127	4.40
15～19	291,472	4.65
20～24	317,392	5.06
25～29	335,948	5.36
30～34	379,198	6.05
35～39	425,103	6.78
40～44	517,202	8.25
45～49	474,006	7.56
50～54	396,841	6.33
55～59	353,757	5.64
60～64	394,657	6.30
65～69	500,166	7.98
70～74	384,748	6.14
75～79	306,461	4.89
80～84	214,942	3.43
85～89	120,554	1.92
90～94	51,155	0.82
95～99	13,943	0.22
100～	2,335	0.04

2 年齢各歳別人口

年齢各歳別人口で最も人口が多いのは、第1次ベビーブーム世代に当たる68歳の11万1,019人で、次いで、第2次ベビーブーム世代となる43歳の10万7,097人となっています。(本編第2表、図6)

図6 千葉県人口ピラミッド

(単位：人)



総数 6,269,146人

IV 平均年齢

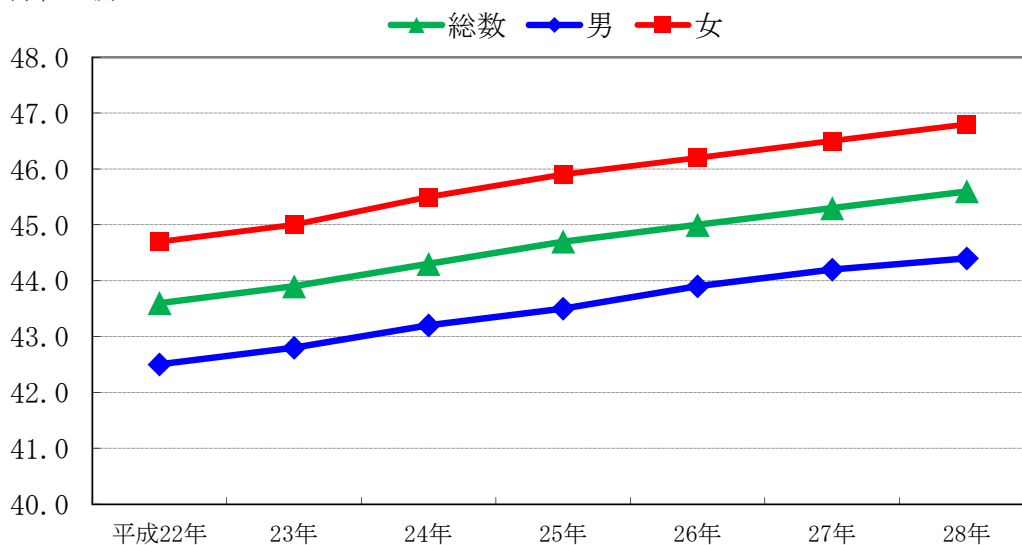
1 千葉県

平成28年4月1日現在の千葉県の平均年齢は、45.6歳となっており、平成27年4月から平成28年3月までの1年間に0.3歳上昇しています。なお、男女別にみると、男性の平均年齢は44.4歳、女性は46.8歳となっています。

また、千葉県の平均年齢は、平成22年から平成28年までの6年間で2.0歳上昇しています。(本編第1表、第4表、図7)

図7 平均年齢の推移

(単位：歳)



2 市区町村

市区町村別の平均年齢が最も高いのは、御宿町の57.3歳となっており、県の平均年齢を11.7歳上回っています。以下、鋸南町56.2歳、南房総市55.1歳、長南町53.9歳、大多喜町53.6歳の順となっています。

また、平均年齢が最も低いのは、浦安市の40.5歳で、県の平均年齢を5.1歳下回っています。次いで、千葉市緑区、成田市の42.9歳、市川市43.3歳、印西市43.5歳の順となっています。(本編第1表、表8、表9)

表8 高い順

順位	市区町村名	平均年齢 (歳)
1	御宿町	57.3
2	鋸南町	56.2
3	南房総市	55.1
4	長南町	53.9
5	大多喜町	53.6

表9 低い順

順位	市区町村名	平均年齢 (歳)
1	浦安市	40.5
2	千葉市緑区	42.9
3	成田市	42.9
4	市川市	43.3
5	印西市	43.5